

2019年3月20日  
野村證券株式会社

## 21世紀金融行動原則 特別賞を受賞しました

野村證券株式会社(代表執行役社長:森田敏夫、以下「当社」)は「21世紀金融行動原則」の最優良取組事例において、本年度の特別賞(運営委員長賞)を受賞しました。

### <受賞内容>

ESG投資の広がり背景に、グリーンボンドやソーシャルボンド、サステナビリティボンド等が国際的に注目されています。野村グループは、これらの債券の引受けを通じて、気候変動や水問題などの社会課題の解決のために推進されるプロジェクトに対する資金需要と、投資を通じて社会に貢献したいという投資家の想いとを橋渡し役を担い、ESG債市場の発展をサポートしながら経済成長と社会の持続的な発展に貢献するとともに、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた取り組みを推進しています。



証券会社を中心としたグループ総合力を最大限結集し、金融ビジネスを通じた持続可能な社会の実現に貢献している点は社会的にも影響は大きい、と高く評価されました。

選定結果はこちらをご参照ください。<https://pfa21.jp/activity/bestaward/bestaward2018/special1>

### <21世紀金融行動原則※について>

2011年に採択された、持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動方針です。2019年3月4日時点で、野村證券と野村アセットマネジメントを含む269機関が署名しています。

※ <https://pfa21.jp/>



野村グループは、今後も企業市民としての社会的責任を果たし、真に豊かな社会の実現と持続的な経済発展に貢献していきます。